



ウェルビー

2018年1月 第33号

- 新年のご挨拶
- ジオン注射(ALT療法)のご案内

WELL BEING NEWS

- 売店がリニューアルオープン
- 医療安全推進週間 開催報告
- サークル KIWA 開催報告
- さつき会 開催報告
- 駐車場整備のお知らせ
- 第6回乳がんいのちプロジェクト市民公開講座 開催報告
「いのち 今を生きることとは ～乳がんになったら仕事どうしますか?～」
- 緩和ケア病棟見学会 開催報告
- 第12回橋本市災害医療フォーラム 開催報告

- 新任医師の紹介

～連載～

- 地域連携室便り 地域の架け橋

リハビリ型デイサービス

あじさい

OPEN

2018年
1月
かつらぎ町に



あじさいはリハビリに特化したスタイルの
デイサービスです。
経験豊かなリハビリスタッフが皆さまの
元気な心・体作りを全力でサポートします。

お問い合わせ

〒649-7162 和歌山県伊都郡かつらぎ町笠田中 256-1

TEL 0736-23-2010



謹賀新年



理事長

佐藤 雅司

二〇一八年、平成三十年を迎えました。
年を追う毎に世の中の動きがどんどん早くなっていき、ついに行くのが大変な時代です。何が起るかわからないのが社会の動き、地球環境の変化です。
地球温暖化が原因と思われる異常気象はもう人ごとではなくなりましました。昨秋には紀北地方でも観測史上最大の雨が降り、床上、床下浸水、農作物の被害も多量に出たのです。また南海東南海地震も心配の種です。紀和病院では、昨年からの地震などの大災害を想定した訓練を行うことにしました。いざというとき慌てないようにこれから災害訓練を繰り返していきます。

南労会グループには、昨年四月、四十名もの新人が、私たちの仲間として仕事に就いてくれました。紀和病院が、伊都橋本地域の医療看護介護の中心的存在であるだけでなく、就労の場としても大きな役割を担っていることが改めて実証されたと思います。

入院患者さん、外来患者さん、在宅介護療養の皆さんの命と健康を守ることが何よりも私たちの使命ですが、それと共に、これらの仕事に就いている私たち一人一人が、自らの仕事のスキルアップに努め、自身を磨いていく事も大切なことです。

南労会グループとして本年は、そのような仕事のしやすい環境、スキルアップにチャレンジできる教育環境を積極的に提供して、働く場としてもこの地域での中心となるよう力を注いでいきたいと思います。
今年もよろしく願います。



院長

西口 孝

皆様明けましておめでとうございます。
今年の冬は、早くから繰り返す寒波の襲来で早々と真冬のような毎日が続いております。世界に類を見ない少子高齢化が急速に進む中、わが国の医療提供体制は大きな変革の時期を迎えています。特にここ伊都・橋本医療圏ではその変化を先取るように、人口の減少に加え、住民の高齢化が進んでいます。このような住環境の変化に合わせた医療を提供することの意味を考慮して施設を運営して行くことが求められています。

私たち、南労会グループも平成二十八年から、クリニック、病院、介護事業部、在宅医療に付いて、施設連携と質の高い医療を目指して大きな変革をなしてきました。国の第7次医療計画が始まる今年平成三十年は、その変革の方向性を正確に見極めて実践して行く年ということが言えます。

紀和クリニック…当クリニックでは、近隣の病院では手薄と思われる、皮膚科、神経内科、泌尿器科に近畿大学から、整形外科の先生方を奈良医大から、非常に優秀な先生方に来ていただいて、質の高い専門外来で地域の皆様方のご要望に沿えるような診療体制をとっております。また、本年から和歌山医大から新しく形成外科の先生に外来を開設していただくようになりました。さらに、緩和病棟でメンタルケアをしていたいただいている先生に心療内科外来を開くことになって

紀和病院…平成二十八年六月に、同じ法人内に有った伊藤病院を廃止し、紀和病院に統合しました。それを期に八月一日より院内の一般病棟を、今までの2病棟から1病棟に統合再編し、それにより病院はHCC(4床)、3階西一般病棟(7対1・58床)、2階西地域包括病棟(42床)、3階東回復期リハビリテーション病棟(50床)、2階東障害者病棟(55床)、1階東緩和病棟(15床)、2階療養病棟(68床)となり、急性期の高度医療に対応する病棟から、地域包括回復期リハビリテーション、慢性期を担う障害者病棟と療養病棟をバランスよく配置した280床を有する大きな病院となりました。

介護事業部…さらに平成二十九年一月からは、かつらぎ町に介護老人福祉施設「やまぼうし」を開設し、これまでの生活習慣を大きく変えないで暮らしを継続して「生き生きと生きて」いただけるような施設作りに励んでいます。また、本年一月よりリハビリ型デイサービス「あじさい」を開設いたします。

このように、高度急性期から在宅医療にいたるまで、地域の医療施設さらには介護施設との間の強固な連携を基本とした、住民の方々にシームレスなサービスが提供できる施設が出来上がっています。

さて、今年平成三十年(二〇一八年)は、戌(いぬ)年、干支で表すと戌戌(つちのえいぬ)。今年の戌年の運氣や兆候は、二十九年に燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに芽生えた新たな意味や価値が今年に、グッと成長することを示しているといわれます。つまり、前向きに地道な努力を重ねることが出来るかどうかで、成長するか、枯れてしまうか、この三十年の戌年は、運氣が大きく変わるとのこと。枯れずに成長する、良い一年にするために、前向きに、新しい目標に向かって努力することを、心がけたいものです。

ジオン注射（ALTA 療法）治療が受けられます

手術不要

治療にかかる時間は
わずか 30 分

翌日から
日常生活に復帰できる

注射 1 本
で治せる

- ・ジオン注射とは、いぼ痔を切らずに、注射一本で治す画期的な治療法です。
- ・手術・入院の必要はなく、治療にかかる時間は、麻酔も含めて 30 分程度です。
- ・個人差はありますが、翌日から日常生活に戻れ、お仕事にも復帰できます。

※翌日から、日常生活に復帰できますが、数日間ではできるだけ安静を心がけてください。

費用が気になる方も安心の医療保険適用

痛みや出血が少なく、治療時間も短いため、身体的・精神的負担が軽いのはもちろんのこと、治療費が医療保険適用のため経済的負担も軽減されます。

＜診療科目＞ 外科・肛門外科 ＜受付＞ 火曜日・金曜日 ＜受付時間＞ 午前／8:00～11:30

＜担当医師＞ 副院長 松田 泰次 ＜お問い合わせ＞ 紀和クリニック TEL 0736-34-1255



W E L L B E I N G N E W S



売店がリニューアルオープンいたしました！



11月21日（火）売店がリニューアルオープンいたしました。

お弁当、お菓子、日用品類など患者さんやお見舞いの方に便利にご利用いただける商品を多種取り揃えております。当院にお越しの際は是非ご利用ください。

【営業時間】

（平 日）8:00～18:00

（土日祝）8:00～13:00

医療安全 推進週間

11/21～11/27

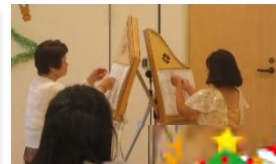
2017 年度のテーマ

転倒予防はなぜ重要でしょう？

患者さんと医療従事者が「お互いが大切な安全パートナー」として、安全な医療を受けていただくことをテーマに取り組んでおります。患者さん、地域の方々も転倒予防で、楽しい毎日を送りましょう。



地域ボランティアと作る「交流広場」サークル KIWA チェンバリーハープ演奏会



12月8日、古川亜友美さん 古川伸子さん 先生の下木加寿子さんが演奏下さいました。クリスマスにちなんだ曲あり、アニメソングありの楽しいコンサートとなりました。美しい音色に涙を流しておられる方もいらっしゃいました。楽しい時間をありがとうございました。

高次脳機能障害者と家族の会 さつき会



高次脳機能障害の当事者や家族の交流のため、月1回活動しているさつき会が年に1度のクリスマス会を今年も開催しました。喫茶あり、出し物ありと大忙しでしたが普段以上に良い表情で活躍される皆さんを今年も見ることができました。

外来患者専用駐車場・職員専用駐車場を整備しております。砂利の駐車場として使用していた所をアスファルトの駐車場に改修中です。来院される方々が、気持ちよく使っていただけなる駐車場になりました。



駐車場
整備中

第6回 乳がんいのちプロジェクト市民公開講座

「いのち 今を生きることとは ～乳がんになったら仕事どうしますか？～」



連日続く曇り空の影響で、当日もあいにくのお天気☁️🌧️でした・・・が💡！！たくさんの方にお越しいただきました。毎年、乳がんいのちプロジェクトの想いを込めたオリジナルビデオを作成し、上映しています。たくさんの方に登場していただき、みんなと作り上げていくこのビデオ♪今年のキーワードは「乳がん、仕事、職場、地域、病院、協力、笑顔」。橋本市 平木市長、伊都医師会長 松浦先生をはじめ、ハローワーク橋本のみなさん、FM はしもとさんや地元企業の方たちにも撮影にご協力いただき、今年も素敵なビデオが完成しました🎬

笑いあり、真剣な場面あり！の盛りだくさんな一日を、無事に終えることができました😊お足元悪いなか一部講演会場のアザレアや二部ライトアップ会場の慈尊院さんへご来場くださり、本当にありがとうございました！！



2017 年緩和ケア病棟見学会

今年も緩和ケア病棟を知ってもらいたい、身近に感じてってもらいたいと10月22日(日)・23日(月)の2日間で緩和ケア病棟見学会を開催いたしました。開催中、病棟での一年間の様子をまとめたDVDを上映いたしました。「入院した時の様子がよく分かる」「患者さんと看護師さんの距離感が近い感じが伝わる」などの言葉をいただきました。栄養補助食品のコーナーでは多くの種類を展示し、味や口当たり、栄養

の状態などの説明を行いました。来てくださったケアマネジャーさんの中には管理栄養士の説明を聞き、この種類を受け持ちの患者さんに勧めてみようかな！などとおっしゃっている方もいらっしゃいました。来てくださった方々は廣岡医師の講演会を通じて、実際病棟を見ていただいて、暖かい雰囲気の緩和ケア病棟を知っていただけたと思います。ありがとうございました。



第12回 橋本市災害医療フォーラム

第1回 紀和病院災害訓練を開催

2017年10月7日(土)、橋本市主催の災害医療フォーラムに災害支援病院として参加させていただき、紀和病院内にて災害訓練を行いました。地震発生から災害本部の構築、院内ゾーニング、傷病者のトリアージ、重症者の搬送といった災害医療の基本的な流れを実際に行い、平時の医療との違い・難しさを目の当たりにしました。また、自分たちの強み・弱みを知るいい機会にもなりました。災害時には当院の力を最大限発揮できるように、これからも訓練を積み重ねていきたいと思っています。





新任医師の紹介

牧野 正直 医師

所属診療科：緩和ケア科（精神科）

【略歴】広島大学医学部（昭和 44 年卒）

大学を卒業して以来、世界の感染症の撲滅に力を注いで参りました。国立療養所の勤務を終えるとき、思うところがあって精神科へ転科をいたしました。最近、精神保健指定医の資格をとり本格的に“心の病”に取り組もうと思い、南労会に移る事にしました。これまで“病と人権”を自分のテーマとして歩んで参りましたが、これからは心の病に対する偏見・差別と向き合っていきたいと思っています。



地域連携室便り



木秀クリニック

始めに、紀和病院の諸先生方、職員の皆様方には肺炎、骨折等々で非常にお世話になり、いつも快く受け入れていただき感謝申し上げます。

伊都郡かつらぎ町丁ノ町に平成25年5月から木秀クリニックを開業させていただきました。私は生まれも育ちもかつらぎ町で、小、中、高校と地元で育ってきたので、私のことを知っておられる方が少なくありません。そんな方が患者さんとして診察にこられると、非常に恐縮し緊張してしまいます。今まで、このような医師と患者さんの関係は勤務医時代ではあまり経験しないことでしたので新鮮でもあり、またプレッシャーでもあります。

日常の診療は専門性や特徴は出さず、依頼があればどんな疾患でもまず診るということをモットーに日常診療を行っています。少し、小難しい話になりますが、古典の「学紀」に学問には、4つの段階があると記されています。もっぱら知識を蓄える（蔵学）、知識を整理し自分の

地域の 架け橋

院長 横手 秀行 先生

ものにする（修学）、次に学問が呼吸するのと同じように自然になる（息学）、さらに学問が体に溶け込み体と一体になる（遊学）の4つの段階です。理想論ですが、この古典にならえば開業医として、遊診とでもいうような境地を目指して日々努力できればと思っています。

もう一つ、この地域で紀ノ川は象徴的な存在です。幼少期から遊びを通じて育てていただいたこの川には非常に感謝しています。父から中学時代に教わった小鷹網漁という鮎漁があります。大学入学からはする機会もなく封印していましたが、数年前から再開してみました。かなり下手にはなっていましたが、それなりに楽しめます。地元で鮎漁をする方々も快く受け入れていただけて、紀ノ川を通じて地元の方々と交流することも非常に楽しいです。まさか10代にやっていた小鷹網漁が今になって復活するとは不思議なものです。

地元の人との交流、自己修養を職員とともにいながら、毎日を過ごしています。今後ともよろしくお願いいたします。

*本文は院長 横手 秀行 先生よりご寄稿いただきました。



木秀クリニック TEL 0736-22-8883

〒649-7121 伊都郡かつらぎ町丁ノ町 2530-11